

安心して 住み続けられるために

～八尾市西郡住宅まちづくり協議会～

多様な住宅供給に向けた住宅活用と 住民参加のまちづくり

2004年度より進めてきた、9号棟の改善事業が2006年7月末に工事が終了し、8月から戻り入居が始まりました。

西郡地域では、「市営西郡住宅ストック総合活用計画」におけるモデル団地として、9号棟の改善事業・30号棟のエレベーター設置事業（2005年の年末完成）が行われました。中でも9号棟の改善事業は、工事の間、西郡住宅内に仮移転していただく事が必要となり、また、改善事業の内容によって以前自分が住んでいた住戸に戻れないケース（別の部屋は有）や、高齢者が多く健康に対しての不安があって事業に同意できない世帯が数軒ありましたが、改善計画検討ワークショップを通して、外廊下型エレベーターの採用や住民ニーズに応じた平面プランが提案されたあたりから事業の実現に向けて前進しました。



住戸改善された9号棟（北側）

しかしながら、改善事業に向けての課題はたくさんありました。改修事業を始めるには、仮移転が必要で仮移転先の住宅も色々なパターンがあります。と言っても、地域内の市営住宅なので団地であることから、仮移転に関してもある一定のルール（高齢者・障害を持っているもの等が、低層階に移る）が必要となり、それを住民とワークショップで優先順位などを、話し合っ決めてました。そして、仮移転が進みだしましたが、移転する前に住民さんの生活を円滑にするためにと、「住民カルテ」を作成しました。「住民カルテ」とは、世帯の状況・健康状態・高齢者には、在宅サービスの状況・仮移転先の関する希望・本入居に関する希望などを行政・地元と友に聞き取りました。



住戸改善前の9号棟（北側）

いよいよ、仮移転が始まりましたが、その前にもう一つやっておかなければいけない事があります。住民さんのほとんどが、高齢者なので、仮移転する際に書類の手続きや引越し業者の紹介等や、改修工事の様子・改善後の部品の展示を行う「何でも相談会」を開催しました。だんだん完成に近づくにあたり、今度は外壁・扉・廊下などの色を決めるワークショップを行いました。選択のポイントとして、「〇〇色の団地」と言われる住宅にしようという提案がなされました。2006年8月より本移転が始まりましたが、その前に戻り入居の「何でも相談会」・地域住民にも事業の様子を見てもらう住民見学会を行いました。



ワークショップの様子

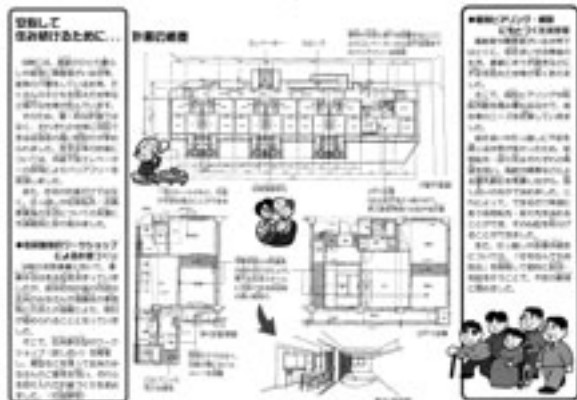
本移転も終わり一段落した後、今度は、住民自治・生活のルール作り等をワークショップで話し合い、「管理人・月決め掃除・9号棟通信」などが取り決められました。まだまだ、駐車場の優先順位等、取り決めなければいけない所が多くありますが、希薄になった地域住民の連帯感・住民自治を取り戻すべく、モデル住宅として9号棟の位置付けが、益々注目されるとともに期待されています。



エレベーター設置前の9号（南側）



エレベーターを設置した9号（南側）



西郡住宅のこれから

幸第2公園の再整備の活動と 住民参加による取り組み

2004年度に6回のワークショップを行い2005年3月に地域の想いや今後の取り組みの方針なども含めた「幸第2公園再整備案提案書」を発刊し、2005年度は公園の遊具・用具がどのような物が良いか、保育所に聞き取ったり、老人センターにヒアリングに行ったりと、利用者の視点で遊具・用具を決定しました。



モニメント制作ワークショップの様子

2005年4月29日には、幸第2公園オープニングイベントを開催する運びとなり、PTAが中心となって、実行委員会形式で、民生・自治振興委員等の各種団体や個人の方がイベントに協力して頂き、寄付金を集める事ができましたので、公園のモニメント制作をしようとワークショップをおこないました。



モニメント模型を制作している様子

モニメントは、紙粘土や発泡スチロールなどを使い制作を行いました。参加者の年齢層が幅広く様々な模型が14種類提案され、そのうちの1つを参加者の投票で選びました。

イベントには、市長をはじめ、500名を超える参加者があり、たこ焼きの屋台・楽団演奏・遊具・器具紹介・花植え・そして、モニメントの除幕式を行いました。



公園を管理する管理棟の壁を制作している様子

しかし、公園の完成はこれだけでなく、住民のセルフビルドで、ベンチ作り・集いの拠点作りなどを行います。大切なのは、これからの公園の管理です。



再生前の幸第2公園（北西側）



再生後の幸第2公園（南西側）

「自分達の公園」という位置付けで公園作りをはじめてきましたが、これからの大切な事です。

公園を利用されることで、ゴミの問題や遊具の点検草刈などの諸問題が挙がってきます。



再生後の幸第2公園（南側）



子ども達と幸第2公園をつくっている様子

西郡では、団地が多くコミュニティの形成が希薄になった感がありますが、昔からのお互いを助け合う気持ち「おたがいさま」を再構築するために、改善事業・公園再整備で住民の皆で考え、行動するには、今がチャンスでした。そこで、先にも述べましたが、公園オープニング実行委員会が、公園愛護協会へと発展いたしました。これから公園愛護協会から周辺住民を巻き込んで公園自治に取り組んでいく予定です。



再生前の第2公園（北西側）